

職域における 定期健康診断の有所見率

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

会長 柳澤 信夫

岐阜大学名誉教授 牧野 茂徳

広報部会長 市川 英一

I はじめに

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）では、事業場が推進する健康管理の参考データとして産業保健関係者に提供することを目的に、会員機関が実施した職域における健康診断のデータを収集し、性・年齢別、企業規模別及び業種別の有所見率を集計した。

II 方法

1. 解析対象とした健康診断の実施機関

平成 22 年 6 月、東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）に加入する 35 機関へ調査表を配布し、9 月 20 日までに調査票を回収。36 機関のうち 19 機関から報告があった。

2. 有所見の判定

各検査項目の有所見の判定は、各健診機関の医師がそれぞれ策定した判定基準を使用したもので、統一されたものではない。

3. 定期健康診断の実施期間

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの 1 年間に実施された健康診断について集計した。

III 結果

解析対象 2,324,309
男性 1,554,349 人
女性 769,960 人
合計 2,324,309 人

男性は 35-39 歳が最も多く、次に 30-34 歳、そして 40-44 歳の順であった。女性も 35-39 歳が最も多く、次は 20-24 歳、25-29 歳の順であった。

性・項目別の有所見率

男性で有所見率が高かったのは、

血中脂質検査 42.5%、腹囲計測 39.4%、肥満度（BMI）27.9%、肝機能検査 23.0%、血圧測定 22.4%、聴力検査（4000Hz）10.7%、血糖検査（及び・またはヘモグロビン A1c）10.4%の順であった。

表-1 性年齢別有所見率調査対象者の年齢構成

年齢	男性		女性	
	人数	%	人数	%
19歳以下	37,942	2.4	31,848	4.1
20-24歳	118,918	7.7	98,161	12.7
25-29歳	165,042	10.6	96,978	12.6
30-34歳	202,266	13.0	94,856	12.3
35-39歳	228,569	14.7	98,689	12.8
40-44歳	200,870	12.9	88,594	11.5
45-49歳	165,014	10.6	76,459	9.9
50-54歳	148,427	9.5	66,323	8.6
55-59歳	147,696	9.5	61,551	8.0
60-64歳	93,881	6.0	36,284	4.7
65歳以上	45,724	2.9	20,217	2.6
合計	1,554,349	100.0	769,960	100.0

図-1 性別項目別有所見率2010年



女性で有所見率が高かったのは、

血中脂質検査 27.5%、肥満度 (BMI) 18.7%、腹囲計測 13.1%、血圧測定 13.0%、貧血検査 12.0%、心電図 8.4%の順であった。

性別で比較すると

男性が女性よりも有意に高かった ($P < 0.001$) のは、聴力検査 (1000Hz・4000Hz)、胸部X線検査、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査 (糖・蛋白)、心電図、肥満度 (BMI)、所見のあった者の割合、腹囲計測であった。一方、女性が有意に高い項目は貧血検査のみであった ($P < 0.001$)。

表2 性年齢別有所見率、2010年

項目	性別	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
聴力検査(1000Hz)	男	0.7	0.9	0.9	1.0	1.3	1.6	2.4	4.0	6.6*	10.0	18.8	3.3***
	女	0.8	0.9	0.9	1.1	1.3	1.7	2.4	4.0	6.4	9.9	18.0	3.0
聴力検査(4000Hz)	男	0.6	0.9***	1.3***	2.0***	3.2***	5.2***	8.7***	15.2***	25.3***	34.0***	49.0***	10.7***
	女	0.5	0.6	0.7	0.9	1.1	1.5	2.3	3.7	7.1	12.2	23.5	3.2
胸部X線検査	男	2.0	2.2	2.0	2.6***	3.9***	4.9***	6.0***	8.1***	10.4***	11.8***	16.7	5.5***
	女	2.9***	2.8***	1.9	2.2	2.6	3.4	4.6	5.7	7.3	9.4	16.5	4.0
血圧測定	男	10.0***	8.4***	8.6***	10.9***	14.4***	20.2***	27.6***	35.8***	41.2***	44.7***	49.3***	22.4***
	女	4.4	5.1	6.0	6.4	7.8	11.2	15.9	22.0	27.2	31.4	43.9	13.0
貧血検査	男	3.5	3.6	4.3	4.9	5.7	6.2	7.2	8.7	10.5***	12.2***	17.0***	7.2
	女	8.8***	8.4***	9.4***	11.0***	13.5***	17.3***	18.6***	11.9***	7.5	6.7	9.4	12.0***
肝機能検査	男	10.2***	10.5***	14.1***	20.5***	24.6***	27.1***	28.1***	27.3***	25.3***	23.2***	21.6***	23.0***
	女	2.8	3.1	3.8	5.3	6.3	7.1	8.3	11.7	13.3	12.3	14.3	7.5
血中脂質検査	男	18.5***	20.7***	26.2***	35.6***	42.8***	48.2***	50.6***	51.6***	49.6	47.5	43.1	42.5***
	女	10.8	12.0	13.2	15.8	18.8	23.7	31.6	44.7	54.0***	54.0***	53.8***	27.5
血糖検査(及び又はヘモグロビンA1c)	男	2.4***	1.4***	1.7***	2.8***	4.8***	7.9***	12.1***	17.0***	21.8***	24.2***	24.9***	10.4***
	女	1.7	1.1	1.0	1.2	1.9	2.9	4.3	6.4	10.0	12.3	16.1	4.3
尿検査(糖)	男	0.8***	0.4***	0.6***	1.0***	1.7***	2.7***	4.2***	6.2***	8.1***	8.6***	8.6***	3.4***
	女	0.5	0.2	0.3	0.4	0.5	0.8	1.1	1.5	2.2	2.5	3.1	0.9
尿検査(蛋白)	男	3.7	2.9	2.9	3.0***	3.5***	3.9***	4.1***	4.6***	5.2***	5.9***	6.9***	4.0***
	女	3.6	3.3***	3.1**	2.8	2.6	2.5	2.4	2.1	2.1	2.3	3.6	2.7
心電図検査	男	5.5***	5.9***	6.8***	7.5***	8.0***	9.0***	10.9***	13.9***	17.4***	20.2***	26.8***	11.7***
	女	3.8	4.4	4.9	6.2	6.2	6.7	8.3	10.1	11.7	13.5	21.7	8.4
肥満度(BMI)	男	20.7***	18.8***	21.7***	26.3***	29.9***	31.5***	31.6***	31.4***	30.0***	28.8***	28.8***	27.9***
	女	12.1	12.1	15.9	17.9	19.3	20.3	21.1	22.4	23.3	24.1	25.4	18.7
所見のあった者の割合	男	33.3***	36.5***	53.0***	52.4***	62.6***	69.0***	73.4***	78.0***	80.8***	83.4***	85.4***	64.6***
	女	24.7	27.3	35.1	41.3	46.4	52.9	58.7	65.2	69.6	72.9	74.3	48.4
腹囲計測	男	16.9***	17.8***	22.8***	31.2***	36.6***	41.7***	44.3***	46.1***	46.9***	46.2***	43.6***	39.4***
	女	5.1	6.6	7.2	8.1	10.3	12.6	13.7	16.3	18.7	20.3	23.5	13.1

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

年齢別の有所見率を男女別に比較すると

多くの年齢層において男性の有所見率が女性より高い項目は

聴力検査 (4000Hz)、血圧測定、肝機能検査、血糖検査 (及び・またはヘモグロビンA1c)、尿検査 (糖) であった。

ある年齢までは男性の有所見率が女性より高く、それより高齢になると逆に女性の有所見率が男性より高い項目は 血中脂質検査のみである。

また、ある年齢までは女性の有所見率が男性より高く、それより高齢になると逆に男性の有所見率が女性より高い項目は 貧血検査、尿検査（蛋白）であった。

* 所見のあった者の割合は全ての年代において 男性が高くなっている。

性・年齢・項目別の有所見率

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率が高くなっている項目は

聴力検査（1000Hz）、聴力検査（4000Hz）、胸部X線検査、血圧測定、血糖検査（及び・またはヘモグロビンA1c）、尿検査（糖）、心電図検査である。

血中脂質検査

男性……50-54歳までは増加傾向、
それ以後は減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率が高く、50歳以上の有所見率は特に高い。

肝機能検査

男性……45-49歳までは増加傾向、
それ以後は徐々に減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

貧血検査

男性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

女性……45-49歳までは年齢が高くなるほど有所見率は高い。50歳以上有所見率低下。

所見のあったものの割合

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率も高くなっている。

図-2 性・年齢別血中脂質検査の有所見率 2010年



企業規模別コメント

企業規模別の有所見率

企業規模は50人未満と50人以上に分け、集計を行った。対象となった人数は、50人未満の男性は121,706人、女性47,987人に対し、50人以上の男性は269,725人、女性102,291人で、各年代のn数は50人未満の女性19歳以下を除き今回はいずれも1,000人を超えていた。なお、女性の50人未満、19歳以下の年代のみが1,000人を下回っていた。

50人未満と50人以上の有所見率を比較すると、男性、女性とも50人未満の企業規模の有所見率が高くなっていた。なお、加齢による有所見率は、男女とも概ね年齢が上がるとともに有所見率が増加する傾向が見られた。

表-3 所見のあった者の割合 2010年

性別	規模	19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65+
M	50<	47.9	46.4 ***	50.1 ***	60.1 ***	70.0 ***	80.6 ***	86.0 ***	89.8 ***	93.0 ***	95.1 ***	97.4 ***
	50≥	44.9	40.6	42.2	49.5	61.1	69.7	75.4	82.3	86.8	90.0	93.5
F	50<	48.4 ***	47.3	50.1 ***	53.1 ***	59.0 ***	65.6 ***	69.1 ***	77.5 ***	81.5 ***	87.4 ***	93.5 ***
	50≥	39.5	47.1	46.6	48.2	53.0	59.6	65.7	74.0	78.7	81.9	87.1

* P<0.05 ** P<0.01 *** P<0.001

業種別コメント

業種別の有所見率

業種別は、製造業、建設業、運輸業、商業、その他の五つの区分に分け集計を行った。各業種の集計人数は、製造業男性152,698人、女性53,436人、建設業男性11,199人、女性1,645人、運輸業男性83,499人、女性27,356人、商業男性98,598人、女性94,936人、その他男性154,003人、女性107,763人となっていた。この内、19歳以下の年代は各業種の年代の構成比率として1%未満が多かった。

業種による有所見率は、今回は男女とも運輸業が高く、逆に低かったのは、男性、女性とも製造

業であった。なお、加齢による有所見率は、男女・各業種のいずれもが、加齢とともに有所見率が増加する傾向であった。

表-4 業種別所見のあった者の割合 2010年

性別	業種	19歳以下	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65歳以上
M	製造業	20.3	19.0	22.4	30.9	40.9	48.6	51.4	53.4	57.0	60.4	61.8
	建設業	20.8	20.4	24.8	30.7	45.2	40.9	48.0	49.6	55.7	65.0	76.9
	運輸業	26.8	26.9	28.0	32.3	55.2	62.0	68.4	71.9	74.3	78.6	83.8
	商業	24.1	24.6	26.1	32.0	38.8	42.7	47.3	49.9	49.0	46.4	44.7
	その他	16.2	27.4	36.2	45.0	54.5	61.1	66.9	74.2	79.4	80.5	69.9
F	製造業	18.6	13.9	13.6	17.6	23.7	27.0	31.8	37.1	41.9	48.3	53.7
	建設業	33.3	11.5	13.3	13.7	20.7	19.7	30.6	34.4	39.6	52.5	81.6
	運輸業	21.1	20.8	22.7	28.3	40.0	47.3	53.7	59.3	61.9	71.4	65.0
	商業	25.6	18.6	19.2	20.2	23.2	30.9	40.3	49.7	57.1	56.3	40.6
	その他	9.9	17.7	31.5	36.1	39.1	42.3	47.4	50.7	54.2	58.4	43.6

IV まとめ

性・年齢別有所見率調査の結果は昨年の有所見率調査の傾向と大きな相違はなく、所見のあった者の割合は男性が女性より高く、男女とも年齢が高くなるほど高くなっている。項目別有所見率は、男女とも血中脂質検査が高く、性別で見ると、貧血検査以外は男性が女性より高くなっている。先ごろ公表されたわが国の有所見率は52.5%で、右肩上がりの傾向に歯止めはかかっている。国は昨年3月、第11次労働災害防止計画にこの歯止めと減少に転じることを目標に事後措置、保健指導、健康教育等の実施を事業者のみならず労働者にも課すことを公表した。

図-3 所見のあった者の割合 2010年



図-4 企業規模別所見のあった者の割合

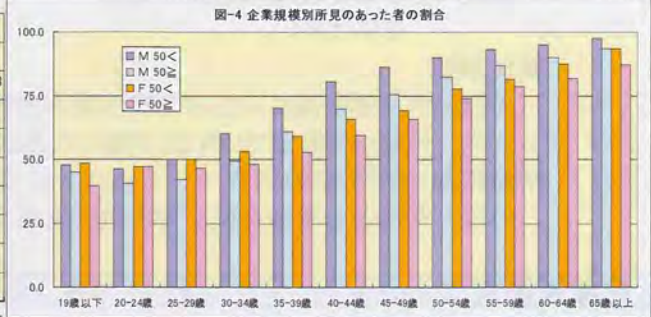
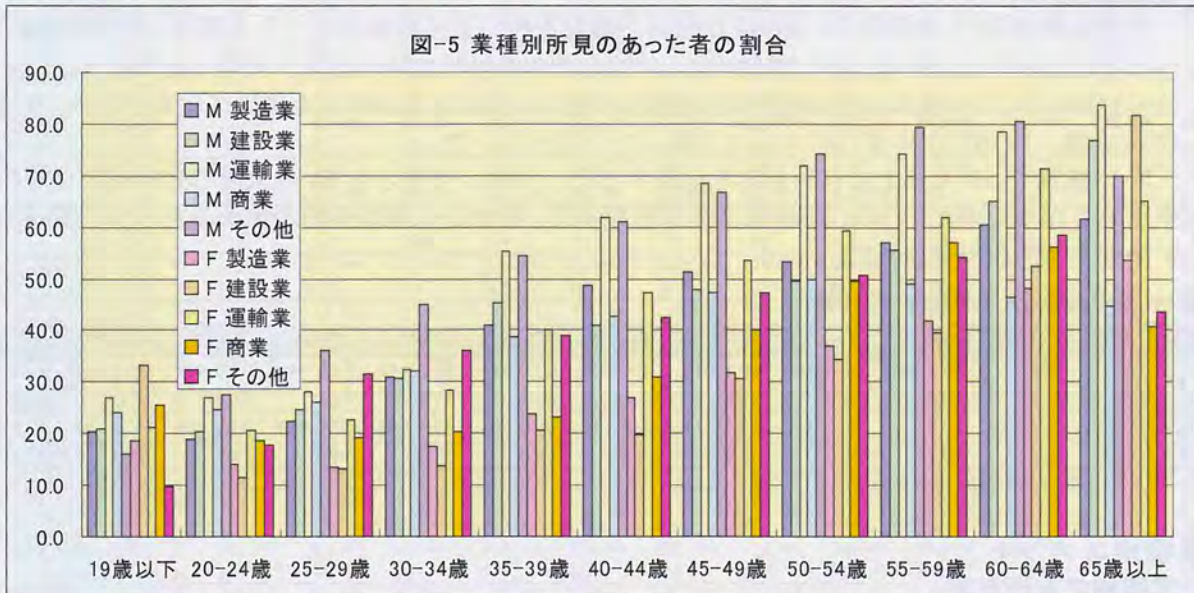


図-5 業種別所見のあった者の割合



東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

事務局連絡先: 〒112-0002 東京都文京区小石川1-2-16 小石川TGビル(医社)同友会 内
 TEL 03-3816-2250 FAX 03-3818-9277
 事務局責任者 渡辺 新吉